


小俣 博司

おまた ひろし / Omata Hiroshi

所属・役職	東京大学空間情報科学研究センター 特任研究員 一般社団法人 シビックテックジャパン代表理事	
活動拠点	全国どこでも	
略歴	<p>1986年 日本工学院専門学校メカトロニクス科卒業 1986年 組み込み系ソフトウェア会社に就職 1992年 組み込み系ソフトウェア会社起業 1993年 独立しフリーランス 2005年 シリコンバレーの米国企業入社 2014年 福島県浪江町の役場に勤務 オープン川崎/Code for Kawasaki 設立・代表就任 2015年 東京大学生産技術研究所 特任研究員 2021年 東京大学空間情報科学研究センターに移籍 2019年 一般社団法人シビックテックジャパン設立 2023年 一般社団法人シビックテックジャパン 代表理事就任 2026年 相模女子大学専門職大学院 社会起業研究科修了。社会起業修士（専門職）</p>	
こんなことを支援できます	<p>①オープンデータ・地域データ活用 ・オープンデータ活用や市民が自ら作成する地域データの整備を支援。 ・データを活用したシビックプライド醸成と地域コミュニティづくりを支援。</p> <p>②シビックテック・官民連携 ・地域コミュニティづくり・官民連携のためのテクノロジー活用（シビックテック）を推進。 ・市民協働型まちづくりコミュニケーションツールの開発・活用支援。</p> <p>③デジタル・ICTリテラシー教育 ・ICTを中心としたデジタルリテラシー・情報リテラシーの教育を支援。 ・市民向けオープンデータ講座・AI講座・デジタル地図データ作成講座を実施。</p>	
自治体向けメッセージ	<p>民間のソフトウェアエンジニア、自治体職員、大学職員の経験があり、産官学それぞれの立場からの視点を持っています。こういった経験がお役に立てればと思います。</p>	

<主な専門分野>※特に得意とする専門分野を3つまで掲載

ビ 地域ビジネス **OD** オープンデータ **広** ICT活用広報

<地域情報化に関する実績>

オープンデータや ICT、AI を活用し、地域課題の解決を持続可能な事業として実装するシビックテックの実践者です。データ分析からサービス設計、アプリ開発、運用までをエンジニアリングの視点で一貫して手がけ、社会課題を価値へと転換する取り組みを進めています。

また、IoT やモビリティなどのプロジェクトにおいても、AI の活用やデータドリブンな意思決定を取り入れながら、ビジネスモデルや収益性、スケーラビリティを意識した設計を実践しています。

市民・行政・企業を巻き込んだ共創や人材育成にも注力し「テクノロジーで社会をアップデートする」ことをテーマに、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。